

# 町長行政報告



湯沢町長 上村清隆

おもてなしについて感謝の声が届いております。

さて、高齢者福祉施策及び介護保険事業の方向性を示すとともに、今

「トキはなて 君の力を 大空へ」の大会スローガンのもと、2月17日から20日にかけて第64回国民体育大会冬季大会スキー競技会が開催されました。雪の状況が心配されましたが、町民の皆様はじめ、自衛隊の皆様、そして多くの関係者の皆様のご支援、ご協力により無事終了することができました。マスクミ等からも高い評価をいただくとともに、宿泊関係やボランティアの皆様による

後も進行する高齢化に伴う諸問題に対応するため、関係者のご協力のもと、このたび「湯沢町老人福祉計画・第4期介護保険事業計画」の原案が作成されました。

また、土砂災害防止法に基づき、大字土樽地区を土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定することについて、県より意見を求められておりましたが、地元説明会を行うなか、岩原地区の一部を土砂災害特別警

戒区域から除外するよう、意見書を提出いたしました。今後県による地域指定の決定を受けて、大字土樽地区の土砂災害ハザードマップを作製する予定となっております。これに先駆け、2月6日にエフエム雪国と「災害情報等に関する協定書」を取り交わしました。これは、地震等災害が発生した場合やその恐れがある場合、町民への注意喚起が必要な際に緊急の災害情報を放送していただくためのものです。

湯沢高校跡地の件ですが、県に対し文庫施設用地として利用するため取得する旨報告し、2月18日に県と1億7374万3千円で仮契約を締結いたしました。県議会、町議会にて議決をいただいた後、



湯沢高校跡地を1億7,374万3千円で取得しました

3月末に本契約を締結する予定です。

日本童画の父と言われる川上四郎を記念した、第13回「越後湯沢全国童画展」に、今年は全国から236点の作品が寄せられ、内58点の入賞入選作品が3月7日から16日まで公民館に展示してありますので、多くの皆様から鑑賞いただきたいと思います。

## 新副議長に 師田 保氏が就任



高橋博幸氏のご逝去により、1月末から空席になっていた副議長に、新しく師田保氏が、3月定例議会の冒頭の選挙で当選いたしました。師田氏は浅貝出身の2期目、68歳。